

## 「ボトムアップレビュー」研究会

### <背景>

- ・現行の国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の策定以降、北朝鮮の核ミサイル能力や中国のA2AD能力のさらなる拡大、非伝統的課題の深刻化など、日本に対する脅威が質的に変化
- ・2015年に平和安全法制の成立などにより日本の安全保障政策の基本的枠組みが変化
- ・トランプ政権のアジア政策と同盟政策の不確実性

### <手法>

- ・日本を取り巻く安全保障環境（日本が直面する脅威、トランプ政権の同盟政策、国際的な安全保障協力の機会の拡大など）の評価
- ・現行の日本の安全保障政策・体制の有効性の検証

### <目的>

- ・国家安全保障戦略・防衛計画の大綱の早期見直しに向けた提言
- ・兵力構成・能力・インフラ・防衛基盤の観点から必要なものを積み上げて提言
- ・防衛力整備の手法、予算上の課題、省庁間協力のあり方の提言

### <年次計画>

#### 1年目：国家安全保障戦略および防衛大綱の早期見直しに向けた提言

北朝鮮の核ミサイル能力の評価、中国のA2AD能力及びグレーゾーン能力の評価、トランプ政権の同盟・拡大抑止政策の評価、国際安全保障上の脅威の評価をふまえ、現行の国家安全保障戦略と防衛大綱の早期見直しに向けた提言を行う。

#### 2～3年目：ボトムアップレビュー

日本政府および周辺環境の動きをフォローしつつ、1年目で示した国家安全保障戦略と防衛大綱の見直しの方向性に沿って、2023年度までを念頭に、必要な兵力構成、能力、インフラ、防衛基盤（人員の安定的確保含む）、グレーゾーン事態対処能力などのボトムアップレビューを行う。

### <主査>

徳地 秀士 政策研究大学院大学シニアフェロー（主査）

### <委員>

磯部 晃一 元陸将、川崎重工業ストラテジック・アドバイザー  
小原 凡士 笹川平和財団特任研究員  
金田 秀昭 元海将、日本国際問題研究所客員研究員  
神谷 万丈 防衛大学校教授、日本国際問題研究所客員研究員  
秋本 茂雄 前海上保安監、海上保安協会参与  
佐橋 亮 神奈川大学准教授  
下平 幸二 元空将、川崎重工業顧問  
神保 謙 慶應義塾大学准教授  
高橋 杉雄 防衛研究所特別研究官  
鮎田 英一 元海将、東芝顧問  
森 聡 法政大学教授  
村野 将 岡崎研究所研究員

### <委員兼幹事>

相 航一 日本国際問題研究所所長代行  
中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長  
小谷 哲男 日本国際問題研究所主任研究員

## 研究会の実施状況

### 第一回会合

日時・場所：2017年6月2日、於当研究所

テーマ：プロジェクトの方向性、作業計画・分担の確認、その他運営方針に関する打合せ

### 第二回会合

日時・場所：2017年7月3日、於当研究所

テーマ：「転換期の安全保障政策（歴史的視点から）」

「東シナ海及び周辺海域における海上保安庁の対応」

### 第三回会合

日時・場所：2017年8月30日、於当研究所

テーマ：「国家安全保障戦略の再検討」

「防衛計画の大綱の再検討」

### 第四回会合

日時・場所：2017年10月6日、於当研究所

テーマ：「基盤的防衛力構想からの脱却—ミッション志向型防衛力の追求—」

「日本を取り巻く安全保障環境—周辺国の核・ミサイル脅威とその影響—」

### 第五回会合

日時・場所：2017年10月24日、於当研究所

テーマ：「北朝鮮（中国）の核・ミサイル脅威—多元経空複合脅威への対応—」

「中国の海洋進出」

### 第六回会合

日時・場所：2017年11月30日、於当研究所

テーマ：「海上防衛力の見直し—統合的見地から」

「航空防衛力の現状と課題」

「我が国における防衛戦略上の課題」

### 第七回会合

日時・場所：2017年12月21日、於当研究所

テーマ：「日米同盟の課題」

「国際協力の課題と機会」